

操作性や使い勝手に優れた機種が勢ぞろい

家庭用浄水器特集

浄水器メーカー55社が会員となっている業界団体「浄水器協議会」の調査によれば、家庭用浄水器の普及率は東京や大阪など都市部で約36%、全国平均でも約26%と、実に4世帯に1世帯の割合で拡がりをみせ、家庭用浄水器はまさに家庭の必需品となりました。浄水器を使う理由としては「おいしい水が飲みたいから」「安全な水を飲みたいから」をあげるユーザーが6割近くを占め、よりおいしい水、より安全な水に対する要望の高さが伺えます。

現在、家庭用浄水器にはコンパクトさをうたった蛇口直結型、据え置き型、そして本格的・大容量のビルトインタイプの3タイプがありますが、人気があるのは蛇口直結型の浄水器。その理由は 残留塩素やカビ臭をしっかりと、場所を取らないコンパクトサイズ リーズナブルなプライスと3つを実現しているからです。特に、マンションやアパートなどキッチンスペースに余裕がない家庭では圧倒的に人気があります。

さて、今回ご紹介するのは東レ『トレビーノ カセッティ』タッチ式、三菱レイヨン『クリンスイ デミタイム』、松下電工『ミズトピア TK611』の3種類。どれも蛇口直結型の最新機種で、汚れを吸着する活性炭と汚れをこし取る中空糸膜フィルターを組み合わせた浄水方式です。水道水中の残留塩素やカビ臭を活性炭がとり、サビや一般細菌、大腸菌など0.1~0.2マイクロメートル以上の汚れを中空糸膜フィルターが除去します。活性炭の細かさや中空糸の素材に各社違いはありますが、浄水能力はほぼ横並び。実際に今回の取材でも「わが社が一番」との自信の声が聞かれなかったのは残念です。

では、浄水器選びのポイントは？というところ、まずは目的をはっきりさせること。「カルキ臭やカビ臭をしっかりとりたい」というのであれば蛇口直結型の浄水器で充分です。その上でコストや操作性、サイズ、デザインなどを考えれば機種選びも容易です。また、「トリハロメタンや農薬までしっかりと確実に除去したい」というのであればより大型大容量の据え置き型浄水器を選ぶのがベストです。

キーワードは“ラク”な使い勝手
大きなタッチレバーと見やすい切り替え表示が自慢
蛇口直結型浄水器

『トレビーノ・カセッティ』タッチ式

東レ

東レの『トレビーノ・カセッティ』タッチ式は使いやすい切り替えレバー、大きく見やすい切り替え表示など、より実用的な使いやすさを備えた蛇口直結型の浄水器です。

お料理中などは粉だらけや泡だらけの手で浄水器の「原水/浄水」切り替えを行うケースもよくあります。『トレビーノ カセッティ』はそんな時でも浄水器本体を汚さずに「原水/原水シャワー/浄水」切り替えが行える「タッチレバー」を搭載。本体正面にワンタッチ式の切り替えレバーがついているので、指先が汚れている場合でも手の甲を使ってポンッと軽く切り替えが行えます。

さらに好感がもてるのは切り替え表示を前面に出し、大きな文字で表示したこと。「浄水」「原水」「シャワー」がはっきりわかり、ブルーとホワイトの色づきもさわやかで気持ちよく感じます。簡単なことながらも他社の盲点をついた親切機能で、子供からお年寄りまで使いやすいよう工夫されています。

カートリッジ交換の目安は1日10リットル利用の場合で4~5か月。ただし、カートリッジの汚れ具合が見える「見え窓」があるので参考にしてください。



カートリッジの付け替え操作も簡単。



『トレビーノ カセッティ』タッチ式 6800円
カートリッジ2900円、他にトリハロメタン高除去タイプのカートリッジ4900円もあります。

カートリッジの交換時期がひと目でわかる
ライフメーター機能を搭載

『ハイパワークリンスイ デミタイム』

三菱レイヨン

クリンスイシリーズで知られる三菱レイヨンから新登場した『デミタイム』はカートリッジ交換時期が判りやすいのがメリットです。

新発売の『デミタイム』はカートリッジ交換時期をお知らせする「ライフメーター」機能を搭載。浄水量に応じて、カートリッジ側面に設けた4つの窓が徐々にオレンジ色に変わり、すべてがオレンジ色になったらカートリッジ交換の合図です。従来のつかみにくい目安表示（1日10%使用で6か月や、中空系の汚れ具合、水の出方など）に比べ、ライフメーターはビジュアル的で判りやすいため、これまで大

雑把だった交換のタイミングをしっかりと把握することが可能です。

さらに、ライフメーターを見ていると、「もう何リットルくらい浄水したな」と浄水器の仕事ぶりが見えるようでなんとなく親近感もわいてきます。ちなみに、新発売の『デミタイム』は残留塩素ろ過能力がトータル2000リットルなので、1つの窓がオレンジ色になるごとに500リットル浄水したことを示します。

もちろん、節水シャワーや水抜きフレッシュ機構などクリンスイだけの優れた機能も搭載しています。



『ハイパワークリンスイ デミタイム』6800円。
カートリッジ3800円（1コ入）7000円（2コ入）

トリハロメタンもしっかり除去
残留塩素ろ過だけなら1年通して使えます。

『ミストピア』

松下電工

電気屋さんでよく見かける松下電工の浄水器「ミストピア」シリーズ。新発売の『ミストピア』はトリハロメタンをしっかり除去できるのが特徴です。

今回、松下電工は従来よりキメの細かい新活性炭を開発。従来に比べて2倍近くの吸着能力を発揮し、総トリハロメタン除去能力はトータル1200リットル（1日10%使用で4か月）を実現しました。しかも、残留塩素ろ過能力だけなら4000リットルの性能を確保しており、1年通して使うことも可能。経済的であることはもちろん、カートリッジ交換日を誕生日や記念日などと合わせておけば、忘れること



『ミストピア TK611』7000円
カートリッジ 5000円

もなくなりそうです。

また、『ミストピア』では今まで本体にあった浄水口をカートリッジ側に付け替えたため、カートリッジを交換するたびに浄水口もリフレッシュ。浄水口は汚れが気になる部分だけに嬉しいですね。

ところで、松下電工では浄水機能に、アルカリイオン水や弱酸性水などを作れる機能を加えたアルカリイオン整水器のラインアップも充実。実際に、蛇口直結型の浄水器を2～3回買い換えた後、アルカリイオン整水器に移行するユーザーも多いとのこと。



コンパクト設計が人気の
『ミストピア ミニ』